

第4回 魅力あふれる公園づくり推進委員会 議事録

1 日時

令和6年7月8日(月) 午前10時00分～午後0時00分

2 場所

刈谷市役所 7階 大会議室A・B

3 出席した委員 16名

委員長：瀬口哲夫

委員：今西良共、杉浦世志朗、武田正雄、加藤彰夫、深谷光秀、古荘健一、根来辰夫、
岡田行永、栗田雅貴(代理：清水康弘)、丹羽照元、村口文希、山口博子、
山田裕子、大野裕史、天木敬子

4 欠席した委員 2名

高井智幸、二段日華里

5 事務局

稲垣市長、小川課長、小椋補佐、堀場係長、稲岡主任主査、山内技師、
坂東監、加藤補佐、伊藤係長、原田技師、委託業者

6 傍聴者

17名

7 公開・非公開の別

公開

8 議題

- (1) 前回の意見と対応について(資料2)
- (2) ロードマップの案について(資料3)
- (3) 今後のスケジュールについて(資料4)

質疑

〈議題(1)について〉

説明(資料2: 前回の意見と対応について)

【委員長】

ありがとうございました。只今、説明いただきました前回の意見と対応で、特に分かりやすくしてほしいということに対応して、いろんな工夫をしていただいたかと思います。ご質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。今日、初めての方もいらっしゃるんですけど、どうでしょうか。個人的には、分かりやすくなったかなと思いますが、それは私が何回も聞いているせいだと思いますので。忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

今日は最終回ということで、ぜひ前に進めていくためにはいろんな意見をいただきたいと思います。先行的に、ソフト事業みたいなプレ事業からやっていくという話ですけれども、ハード面を整備していくというのは、今の説明にもありましたように、時間が掛かりますし、連携整備としてあえて時期を調整しているかもしれないし、色々、個々の条件によって違うと思います。

しかし、全体として、できるだけ早く実現していただかないと、また状況が変わりますから、市民の皆さん、人生100年時代ですけど、そんなに待ってられないという方もいらっしゃると思いますので。どうでしょうか。

【委員】

4 ページですけども。変更前が、現時点での民間の資金の活用、いわゆる PFI 系統が削除されているっていうのは、なにか、特に理由があったのですかね。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。整備のしやすさ評価の民間資金の活用につきましては、整備優先度において官民連携の可能性で評価を行っており、評価が重複してしまうため、今回削除しております。

【委員】

サウンディングの結果、あまりいろんな企業が積極的じゃなかったということから削除された。いわゆる何が言いたいかということ、例えば、Park-PFI でミササガパークが割と短期の間にできて、今、結構もう駐車場が入れないぐらいの人気になっている。そういった魅力ある公園になってきたっていうことから考えると、もっと Park-PFI 的なものを進めていったほうが、短期を10年から5年にできるのだったら、いいと思うのですけども、本当は中期も10年ぐらいにしたほうがいいなと思うのですけども。とりあえず、やれるとこ

ろからやるということになれば、ミササガパーク的な Park-PFI 方式をもっと取り入れてくのが、早く完成、いいものができるのではないかなと思うのですけれども、どうでしょうか。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。Park-PFI のような民間資金を取り入れる公園整備については、整備優先度で評価を行っております。また、後ほどロードマップにて、ご説明いたしますが、民間事業者へサウンディング調査を行ったところ、洲原公園や総合運動公園において、官民連携事業へ積極的な参加意欲のある事業者がおりました。

【委員】

亀城公園を例に挙げてご質問をしますが、賑わいとかそういったものを醸成していくために、具体的に1年間を通じてというイメージが頭に浮かぶのですけれども、春夏秋冬、そして、今現在、亀城公園の体育館も含めて、年間いろんな行事があると思います。そして土日。平日は子どもさんたちが遠足だとか、いろんな動きがありますけれども、そういう現状の定量的なものが見えていないので、どこを狙って進めていくのかという具体的なところが見えると、もっといいのかなと思います。その辺、いかがでしょうか。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。公園の現状については、8 ページの『市民』の所の『惜しいところ』で評価を行っております。平日において、亀城公園では、来園者が少ない状況ではありますが、桜まつりのときには多くの方に来ていただいております。ポテンシャルは高いのではないかと考えております。

また、『利活用優先度評価』は、ソフト的な視点で評価をしているものになりますが、こちらのほうも、平日利用が少ないという評価になっています。

この『整備優先度評価』でハード的なところは、『利活用優先度評価』の所で評価を反映しておりますので、よろしく申し上げます。

【委員】

ありがとうございます。それで公園全体ということと、スポーツの関係からということとでちょっとお話ししたいのですけれども、ウィングアリーナも、刈谷市体育館も、年間の人たちが、いつ、どのように来て、どのぐらいのボリュームがあるのかというのは、ある程度、定量的につかめるといいますので、そういったものもある程度、参考にしながら、難しいところがあると思いますけれども、公園全体で把握するというのも進めていただけたらいいのかなと思いました。以上です。

【事務局】

指定管理を行っている公園であれば、利用者からアンケートを収集する等によって、定量的に把握することは可能であると考えております。

また、例えば東京都にある北谷公園においては、公園の各出入口にカメラを設置し、人流解析を行って、Park-PFI等の成果を定量的に測っているような事例もありますので、制度を活用していく中で、このような取り組みについても検討を進めてまいりたいと考えています。

【委員】

亀城公園のところで、先ほど、『惜しいところ』が、平日の利用が少ないからそれを改善していくというのが今回のテーマだと思います。だから、平日が少ない、あるいは季節によって桜のときしか来ない、刈谷市のシンボリックである亀城公園を、春夏秋冬、人がたくさん来て、皆さんが憩えるような場所にしていくためにやっているのであって、平日の利用が少ないから、これは駄目だよっていう、そういう基準ではないと思います。

【事務局】

今回のこの評価では、課題のある方が、事業を実施する必要性が高いという評価としています。

【委員長】

平日の利用者が少ないっていうのを、どうやって商売しているのだろうか、普通は思うわけですよ。恐らく、欧米の場合だと、ブースかなんか置いてあって、利用者の需要に応じて店が開いたり閉じたりしていると思うのですよ。年中、商売しようというケチな考え方っていうのは日本人特有で、半年、働いて、半年、あと海外旅行するというのがリゾート地の観光施設の人のライフスタイルっていうようなの、聞いたことがあります。

公園なんかだと、逆に言うと、人が多いときと少ないときとを、出店してもらう。出店の在り方にいろいろ権利関係があるので、工夫が必要かもしれませんが、そういう、設えをすることだけでも、利用者の、市民の利用の感覚っていうのはものすごく上がると思います。ですから、むしろ平日の利用者が少ないというのはビジネスチャンスがある、面白い場所だというふうに、資産があるわけですから、亀城公園っていう立派なものがあるわけだから、それを使っているんなことのできるのだと見ることもできるので、ぜひその辺りをプロデュースするときに工夫してほしいなと思います。他にはどうでしょうか。

【委員】

総合運動公園って意外と人が多いです。普段の日でも。土曜日、日曜日になりますと、お子さん、子ども連れがたくさん来ています。

しかし、残念ながら、遊んで帰っている。特にこういう暑いときには本当に大変だと思っ
ていますけれども、総合運動公園も、例えば、お店を利用するだとか、そうするともっ
と人が増えてくるし、スポーツの面についても、もっと多くなっていくのではないかと
思っています。ぜひ総合運動公園にも、ミササガパークみたいに、ちょっとしたカフェを
いただければ、もっと楽しい公園ができるのではなかと思っ
ています。よろしくお願
いします。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。総合運動公園につきましては、公園づくり会議におい
ても、市民の皆さまから飲食店等があるとうれしいという意見がありました。民間事業者
の方へ意向調査をしますと、ここであれば飲食店を設置できる可能性があるとのご意見も
いただいておりますので、総合運動公園におきましては、Park-PFI での飲食店の設置にま
ずは取り組んでいこうと考えております。

【委員長】

ありがとうございました。市民の皆さんもあつたほうがいいなということで、ぜひ民間
事業者よりアイデアをいただいて、運動公園の利用者だけではなく、道路を通過する人も
利用できる安定した運営ができると良いかと思っ
ています。

このエリアは短期になっておりますので、それを目標にやっていくことになるかと思
います。

【委員】

フローラルガーデンは、何か催し物をすると、こんなに大勢、公園とか広場一帯が埋ま
ってしまうぐらいに集まるのだなと思っ
て、いいなと思っ
ています。

ただ平日は、公園の外周の所の、ウォーキングするような所は、大勢の人が歩い
ているのですけれども、真ん中の広場の所はなんか全くない、遊具の所なんかも、子ども
さんを連れた人たちがぼつんぼつんという感じの、印象を持っ
ています。

だから、私が言いたいのは、もっと催し物をやると大勢の人が来られて、またそれ
によっていろいろ改善されていくと思っ
ますので、ああいうのをたくさんやっていただくと、
もっと人を誘致、人が大勢、来ていただけるのではないかと思っ
ています。以上です。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。フローラルガーデンよさみは、指定管理者が管理運
営を行っており、第1日曜日にマルシェが開催されております。マルシェを開催している
時は、非常にたくさんの来園者がいて、駐車場が満車になるほどの賑わいがあります。
催し物の企画は、市と指定管理者で考えておりますが、公園は、自由に遊べるような
場所でもあり

ますので、そういった催し物と自由な遊び場とのバランスを考慮したうえで、今後も催し物を開催していきたいと思います。

【委員】

静かな所もいいのでしょうか、あまりにも閑散としていると、これはいかななものかなって思います。公園の中のここはにぎやかだけど、このほうは静かだなんていう感じの所もあっても良いのではないかなと思います。以上です。

【委員長】

ありがとうございます。今、指定管理ということなので、指定管理のときに条件を付けているわけじゃないですか。例えば、催し物を自主事業でやってもらうとか、行政としてはこういうことをやってほしい、市民としてもこういうことをやってほしいという、多分、条件を付けて指定管理になっていると思うので、その辺は詰めていただくと、今おっしゃっていただいたものが解決できるかもしれませんね。

それから、もう一つは、貸しスペースみたいなものを作って、人がどれだけ来るかわかりませんが、キッチンカーみたいなスペースを作るとして、そこは申し込みがあれば貸しますとか。ステージがあれば、そのステージを貸しますとか。そういう、市民に公開するような制度を設ければ、もうちょっと自発的に企画を、催し物として企画しないでも、市民が自由に使ってくれるということも考えられますので、これは整備と直接、並行していますけれど、そういう使い方も工夫して、参考にしていただけたらと思います。ありがとうございました。他にはどうでしょうか。

【委員】

毎日6時ちょっと前から亀城公園を1時間ぐらいウォーキングしているのですが、その時間帯ってウォーキングしている方が多い。平日だと結構、毎日、同じ人に会うのですが、そうすると、歩いて何を感じるかということ、ちょっと休める所が欲しいかなと。そこに24時間のコンビニじゃないけど、早くからやっているコンビニとか、甘味があったらそこで飲みたいなっていう気がします。

もう一つは、さっき言った、公園の中で、使いやすいスペース、これは誰でも使えるのですよね。キッチンカーが来てもいいし、例えば今そこら中でフリーマーケットとかっていうのがあるのですが、そういう人が来て市役所に届けば、ちょっとそういうのができる。それは市民を含めて使うっていう形にしていったら、もっと短期的に、スペースを作って、その許可条件をちょっと決めるだけなので。多分、フリーマーケットやりたいという方は声掛けたらたくさんあると思います。自宅にある不要なものを売るメルカリが流行っている、それを地元でやろうということにすれば、もっと公園が利用できるのかなと思います。

もう一つは、それぞれに歴史があります、亀城公園だったら、昔から、江戸時代のころからお城が始まって、それから岩ヶ池とかは、昔の灌漑の貯水池だったというのとかが色々ありますね。

ただ、すべての公園を同じように遊具だとか、遊歩道とかを整備してしまうと、特徴がなくなってしまうと思います。それぞれの歴史がある中で、それを踏まえた整備の方法を考えていくっていうので、公園ごとに案があります。ですから、亀城公園だったらはやく、石垣などを作って、市民の心の支えとなるような公園にしていくと、さっきのフリーマーケットにしてもそこに行けば楽しめる、みんなが楽しめる。そして皆さんが楽しむために、私たちこういうことをしたいっていうことを提案して、それを実現できるような行政との関係ができていくとすごくいいかなと思います。

特に亀城公園で3月に、地元と一緒にここでイベントやったらすごい人が来ました。そういう形で出店の規制のレベルを少し下げて、誰でも行って、商売もできる。それを許容するというような形で、市民がそこで使える。業者もそこは使えるようになればいいと思います。

【委員長】

ありがとうございます。みんなの公園にしようということで、進んでおりますので、ぜひ、支援をいただくといいと思います。

【委員】

着手時期についてなんですけれども、あらためて、この表が出てきたときに、着手時期を比べたところ、短期の5年目が、この評価結果の所に全部で38項目がありますが、短期は7つしかないのですね。2割しかないですよ。短期2割で、中期、長期っていうことで、長期になると今の1年生が20歳超えるのですよね。そこから着手して5年かかりましたって言うと、今やろうとしている人たちが、今からならできそうだと思う人たちは、腰が折れちゃわないかなと。

できたら、経済的なこともあるでしょうけども、短期を3年にして中期を10年にしていたらありがたいなと。そうすると、私ども生きているうちに何とか見えるかなと気がしますが、その辺りをご考慮いただくと助かります。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。前回からの変更点として、短期事業の期間を10年から5年にしており、全ての事業を短期にすることはできませんでしたが、我々の思いとしては、ここまでに、前倒しも含めて、何とかやっていきたいという思いがあります。

しかしながら、公園ごとの個別の事情により時間を要するものがあるため、それを今回3つの指標で評価し、着手時期を決定しております。

話が少し戻りますが、先ほど、公園の利用に関して、市民の皆さんが使いやすいような、何か取組をしたほうがいいのかとのご意見をいただきましたが、私たちも思いは同じで、まず、魅力あふれる公園づくり構想は、誰もが行きたくなるような公園づくりということで、ワークショップの開催やアンケート調査により多くの意見を取り入れて策定しております。

先ほど、亀城公園の平日利用の少なさのお話がありましたが、今年度、公園の利用を促進するような「にぎわい BOX」を設置し、地元の皆さまと連携して、地元の皆さまを中心として、多くの皆さんに利用してもらいたいと考えております。後ほどのロードマップの中でもご説明いたしますが、着手時期が長期になる事業で、すぐにできることは、今年度からも積極的に実施をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

【委員長】

今の説明で短期は5年目まで、中期は15年目までっていうことだから、前倒しも含めて、そういう思いが込められているということですね。市民の協力だとか財政の状況だとか様々な障害が乗り越えられれば、どんどん早くなるという気持ちだと思います。

長期に関しては、以降って書いてあるので、これは、まで、じゃなくて、以降、なので、気持ちとしては長くかかりそうだとということですが、気持ちを汲んでいただきと思います。

【委員長】

はい。それから、にぎわい BOX というのは、にぎわい BOX1 号が今度できるのですね。ひよっとしたら2号、3号とかってできる可能性も考えて良いですか。

【事務局】

現在のところ、1つだけ設置予定です。今後、どれくらいの民間事業者のニーズがあるのか、公園利用者が増加するのかなど、しっかり検証したいと考えております。

【委員】

ちょっと気になるのですけれども、障害者って公園にあまりいません。障害者の人たちをどういうふうにして公園で楽しませていけるのか。そういうのもちょっと考えてもらいたいと思うのですけれども、どうでしょうか。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。今回の魅力あふれる公園づくり構想については、誰もが行きたくなるような公園を目指しており、障害をお持ちの方にも策定時に会議に参加していただいております、その様な方々の意見を踏まえた将来構想となっておりますので、今後、

事業計画を立てる際には、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮して実施してまいります。

【委員長】

今度のミササガパークの中にも、インクルーシブルの遊具が整備されています。障害者なんかもみんなが使える遊具が試行的に入れてありますので、一応、考慮した計画にはなっているとは思いますが。具体的などころになっていくと、また、いろいろ課題が見えるかと思えます。今のご意見も非常に貴重だと思います。ありがとうございました。

【委員】

今日、お話を伺いながら、魅力あふれる公園づくりっていう、その魅力っていうところで、私も最初の頃は、たくさん人が来るのがいいのだとか、にぎわいがある公園がいいのだったというイメージで、ずっといろんな意見を言っていました。例えば本当にのんびり、人がいないからこそ、ここに行きたいとかおっしゃる、そういう趣味の方もいるのではないかなって思うと、人それぞれのタイミングで、そこに行って安心できるとか、落ち着けるっていう、自分にとっての魅力がある場所っていうことを、一部の市民の人で話し合っているのを、全ての人の魅力に対応していくっていうのはなかなか難しいということ、回を重ねるごとに、気づいてきました。

総合運動公園のエントランス・エリアで、カフェがあったらとてもにぎわうとか、楽しめるって思っていたんですが、本当に、木陰でのんびりされている方もいらっしゃるの、別にスポーツをやりに来ない方もいらっしゃるなっていうのがよく分かりました。魅力という言葉の意味を、広い範囲で考えていくために、今回の会議は大事だったなど、私自身の感覚も少し変わってきたっていうのが感想です。

【委員長】

ありがとうございます。個人にとっての魅力もいろいろ変わるものだということで、でも、公共空間だから、自分の魅力をできるだけ共有したい。

しかし、障害者なんかだと、多数決にしてしまうとちょっと問題があるので、そういうものは多数決じゃない形にしようとか、皆さんが今まで話し合った結果だと思っています。でも、また時間が経つと人間って変わるかもしれませんね。それには見直しが必要だっていうのはよく分かりますし、本当に自分にとっていいのはもう自分でつくるしかないです。

だから、逆に言うと、明治や大正の人で自分の公園を造った人います。豊田市で、昭和の初めに自分で公園造って公開して、公設ではない民設の公園。今でもあります。だから、最後は自分の趣味になっちゃう。自分の庭園を思いどおりに造って、それを公開してって、市民に見ていただく。そういうことも広がっていくと面白いですよ。ありがとうございます。他にはどうでしょうか。

【委員】

私、実は刈谷市民ではないので、刈谷市がすごく羨ましいなと思ったのが、第一感です。すごく行政が地元の方と、何したらいいのか聞き取ろうっていう姿勢ですかね、寄り添おうっていう気持ちがすごく感じられて、すごく良いなと思いました。

この回は魅力あふれる公園づくりっていうテーマで、そもそも一般の人っていうのは、まず家がないものを求めて出掛けますよね。なので、家に公園、例えば広いスペースだとか、人によってはマンションとかですと、庭がないとか、たくさんの花が家にはできないだとか。

あと、運動施設なんかでも、家にはジムがないため、そういった所に出掛ける。だから、刈谷市さんのこの5つの公園に出掛けても、スポーツが中心になるような公園だとか、歴史的なものとか、いわゆる花だとか桜だとか、そういった植物を楽しむ。それから、とにかく広いスペースをとく。あと、岩ヶ池公園なんかは交通の面も良くて、店からいろんなものが集まっているにぎわいの場所だとか。それぞれ、コンセプトっていうのですかね、こういう持っているものがそれぞれあるものですから、それをいかにしていくといいのかなと思います。例えば、岩ヶ池公園なんかは、交通の便も良くて、よそからもいっぱい人が来るものですから、いかにもう一回来てもらうか、次もう一回来てもらうかというところがポイントなのかなとか。

あと、亀城公園や運動公園なんかは、本当にスポーツが中心のような公園になっているので、確かに、何とか大会とかになると週末の利用が多いのだと思いますけども。そういった週末に来たときに、そのスポーツだけじゃなくて、プラスアルファで快適に過ごしてもらうというのが、それが例えば飲食だとか、プラスアルファで、家族で来たときに、他の、プラスアルファで散策、ちょっとくつろげるとか、そういったものが非常に盛り込まれているので、あとはこれをいかに実現するのかっていうのがあります。

あとイベントについては、例えば江南市で言うと、花火大会を10月とか11月にやっています。夏に、あっちでもこっちでもやるような時期にやらずに、やらなくなったときを狙ってやるとか。それで人が集まってきます。そんな、ちょっとしたアイデアで、皆さん、できるものですから。そういったアイデア出しは、本当に地元の方のふとした思い付きだと思います。そういったものを、どんどん意見を言える雰囲気があるので、これをまず大事にしていきたいなっていうのがあります。

あと1つお聞きしたいのは、前回の対応の中に、プレ事業ということで、なんかソフト的な取り組みっていうのがあるのですけれど、何かこれ、イメージしたものがあのかなと気になっております。なんかイメージがあれば教えていただきたいなと思います。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。プレ事業に関しましては、例えば岩ヶ池公園ですと、森

と水の冒険・エリアにおいて、アドベンチャー遊具などを整備するようなイメージを想定しております。

そのような利活用のイメージを、既存の公園の中で、何か体験してもらいたいと考えております。先行して、岩ヶ池公園では、現在、フォレストアドベンチャー・モバイルを設置し、利用者みなさんに体験していただいております。

このようなプレ事業をそれぞれ5公園で実施していこうと思っております。

【委員】

今回が最後なので、一言お礼を言いたいと思います。今年の3月までスポーツ推進委員を三十何年やっております、運動には長年関わっております。

また、ミニテニスとかいろんなことをやっていますので、ウィングアリーナも週に2日は必ず行きます。

そして、昨日は野田八幡宮に7時に集合して、ミササガパークを園内1周して、そのあとフローラルガーデンに寄って、またフローラルガーデンを1周して、そしてまたお宮さんに帰ってくるっていうことをやりました。

また、ハイウェイオアシスで郡上おどりがあった時には、家族で郡上おどりをしに行きました。

本当に私は、公園が生活の一部になっておりますので、こんなにいい市はないなど、いつも自慢しておりますので、本当に早くいろんな整備して、市民の方たちが楽しめる公園をつくっていただきたいと思います。以上です。

【委員長】

ありがとうございます。十分、活用していただいて、ますます魅力が高まりますので、楽しみにしていただけるといいと思います。ありがとうございました。今の議論は前回の意見とかいろいろあるものでして、これからが本番ですね。次の議題のロードマップの案についてであります。それでは説明をお願いいたします。

〈議題(2)について〉

説明(資料3: ロードマップの案について)

【委員長】

資料3で、ロードマップの案について説明をいただきました。先ほどの皆さまのご意見と、少し重複するところもあるかと思いますが、ただ今、説明していただきました、5公園についてのロードマップについて、ご意見をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【委員】

いくつかあるのですが、11ページの亀城公園のことに関してお聞きしたいです。『公園の未来』という所の2番目に、一年中、だれもが楽しめる公園になりますとありますが、桜の季節だけではなくて、例えば、夏に、お堀に水源がないと、いわゆるビオトープをやってみたり、秋だったら紅葉なんて簡単ですので、そうやって一年中、楽しめるようにするのは、割とすぐにできそうなのですが、それが載っていない。

もう一点、ロードマップの一番下で、刈谷城址・エリアの中で、整備事業がいわゆる長期になっているのですが、やぐらとか石垣っていうのは長期と考えていいのですか。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。1点目の、一年中、誰も楽しめる公園とするため、プレ事業として、にぎわいBOXを設置し、8月の下旬に運用できるよう現在進めております。

にぎわいBOXでは、季節に特徴がある亀城公園をいかして、春夏秋冬、様々なイベントを開催しようと考えております。

2点目の刈谷城址・エリアですが、亀城公園のロードマップの表の上から2番目にあるように、短期着手を考えております。

【委員】

BOXは試験的にやるのでしょうかけれども、お堀をきれいにして、ビオトープをやってとか、そういうハード事業は、市としては特に考えていないのですかね。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。今回、ロードマップを示し、エリア内での順序を整理したうえで、エリア全体で必要な取組はしていかなければいけないと思っております。

現在、本丸付近の樹木が茂っている部分について、景観を整えてまいりたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

【委員】

2点、確認したいのですが、全体的なつくり込みの話になります。例えば8ページの洲原公園は、位置図があってロードマップがあるのですが、この位置図の方でそれぞれのエリアがカラーできれいに色分けされている。ロードマップのほうも合わせた色分けをされたほうが、一般の方に見ていただくときには分かりやすくなるだろうと思います。

併せて、エリアの順番とロードマップの順番が合っていないのですよね。ですから、市民の方に見ていただく上では、この辺りの順番を含めて合わせられたほうがいいのかと思います。

それからもう一点は、ロードマップの整備事業の長さが事業期間に相当するのだろうなというふうに理解しているのですが、短期、中期、長期で3段階に分けて、その中でも◎◎△の組み合わせにより10のパターンになっているわけですよね。この10のパターンは、短期の中でも◎◎◎が一番優先順位が高いという理解でよかったですかね。その確認をしたいです。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。1点目につきまして、表現の方法を検討します。

今、このロードマップの順番としては、短期着手、中期着手、長期着手と、どこのエリアから順番にやっていくのかということを示しておりますので、これと5から7ページのエリアの順番とは表現が違いますので、これも併せて、どういう表現が一番分かりやすいか、検討いたします。

2点目につきまして、評価の組み合わせ◎◎◎、◎◎△も同じ短期になっており、◎◎◎が一番優先順位が高いというわけではありません。資料の2ページ目でお示ししていますが、『公園の個別事情』という所で、現在の利用状況であったり、関連エリア同士の連続整備であったり、整備内容の性質を考慮したうえで、短期の中の事業着手時期を決めています。

【委員】

そうすると、10パターンは特に順位付けではないという理解でいいですかね。

【事務局】

はい、その通りでございます。

【委員】

多分、一般の方が見られると、これが順位付けだと思ってしまうので、そこをどう説明し切るかというところはあると思います。

例えば、ロードマップを見ても、洲原公園の学びの森・エリアなんかは、◎◎◎だから、

短期の一番最初に来るといのは分かります。ところが、刈谷市総合運動公園なんかは、エントランス・エリアが◎◎○、グリーンフィールド・エリアが◎◎○になっています。

ここはどう説明し切るかという。どこにもそれが出てこないのですよ。ここが市民の方に理解していただけるかなという。せつかく順位付けをした、これだけのエビデンスを作って、パターン化して、大きく三つに分けたのに、それが活かしきれていないというところが、不安を感じるのですよね。その辺りの詳しい説明をどこかに付けるなり、なんか加えた方がいいと思います。

【事務局】

ありがとうございます。一度、そのように検討させていただきたいと思います。

【委員長】

よろしいですか。他にはどうでしょうか。今の視点は、評価とこちらのロードマップとの整合性の話で、その辺をもう少し。なかなか点数だけで現状を決めていくというところに多少、無理があるのがここにちょっと出ているのかもしれないね。一度、検討していただくということをお願いしたいと思います。他にはどうでしょうか。

【委員】

フローラルガーデンよさみにおいて、緑のみち以外は、ガーデンフェスタ開催のみとなっていて、整備事業はほとんどやらないようにみえますが、緑のみちは何をされるのかを、ちょっとお聞きしたいです。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。緑のみちというのは、魅力あふれる公園づくり構想の中で、フローラルガーデンよさみとミササガパークと刈谷駅を、緑のみちで結ぼうというような構想になっています。

【事務局】

もう少し具体の取り組みでご説明させていただきます。

今、ミササガパークは、指定管理者で管理をお願いしています。一方で、フローラルガーデンよさみも、指定管理者として民間の事業者が管理しております。両公園は距離的にも近いので、フローラルガーデンとミササガパークが連携して、フォトコンテストとか、共同イベントみたいなものを実施して、充実を図りたいので個別の取り組みとして構想に位置付けられています。今後こういった連携が進んで、公園利用者が増加していくと刈谷駅の利用も考えられるため、刈谷駅も含めております。

従って、主な内容としては、ミササガパークとフローラルガーデンが連携して、お互い

に高め合っていきたいという内容が構想に示されており、それを緑のみちとしています。

【委員】

よく分かりました。ちょっと反論させていただくと、緑のみちで刈谷駅からの二つの公園に来るまではよく理解できましたけども、ミササガとフローラルガーデンの中身のほうとしては、特にガーデンフェスタを頑張っているという程度ぐらいで、特に何かを整備される計画はずっと先だと感じます。

もう少し力を入れていただけるようなことを考えていただけないでしょうか。

【事務局】

フローラルガーデンよさみにつきましては、まだ公園が整備されて15年になります。

また、以前行ったサウンディング調査で、民間事業者に出店の可能性を聞き取りしましたが、興味を示していただける事業者がいませんでした。

そのため、現状しっかり管理されており、魅力も十分にあり、喫緊の課題がない中だと優先順位は低くなってしまいます。

一方で、ガーデンフェスタを現在企画しており、その中で、ミササガパークとの連携も考えております。

そうして、両公園での相乗効果を図り、さらにフローラルガーデンの魅力を高めていきたいと思っております。

【委員】

ありがとうございます。例えば、駐車場や隣の田んぼとか、そういうような空き地みたいな場所を刈谷市が買い取って、フローラルガーデンを刈谷の中で一番大きい公園にして。こっち側ではSLが走っているけど、向こう側はもう森林で、人がいるのかいないのか分からないぐらい奥深くて、シーンとした所があつて。そういうような構想を考えていただきたいという感想を持ちました。以上です。

【委員】

今の緑のみちの件も含めて、ここのロードマップに唐突に出てくるので、分かりづらいという話だと思います。ここに緑のみちがあると公園の中で緑のみちを整備するのかなと思う人もいます。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。表現の仕方について、検討いたします。

【委員】

今の緑のみちに関してなんですけども、確かにワークショップのときもあまり話に出ていなかった気がするので、個人的にはこの緑の点線を緑のみちとあまり見てない方には勘違いされると思うので、緑のみち自体をロードマップ上ではなしでもいいのかなとは思っています。

また、フローラルガーデンの評価を見ていたのですが、私は平日あまり行かなくて、休日が主だったので、結構利用されていると思っていて、充実していると思っています。この再評価の結果で、前回の委員会ときは全部、長期だったのですが、ガーデン・エリアとあそびとつどい・エリアが中期に上がったので、安心いたしました。実際の現実的な評価だなというふうに受け止めて。ガーデン・エリアが今あまり使われていないので、ここは利活用の意味もあって、整備していきたいなという市の方の思い、市民もそう思っていますが、それが中期に上がったのでよかったなと思っています。

あそびとつどい・エリアは逆に、今とても使われているエリアなので、15年経過して改修とかも兼ねて中期に上がってきているので、フローラルガーデンよさみの評価のまとめとしては、私はとても現実的にいいかなと思って受け止めています。

今回のこの評価が、施設とか整備に関してなので、フローラルガーデンよさみが確かに、設備としては充実しているので、運営面というかソフト面で変えていけば平日の利用も増えていくという考えで、フェスタの開催とかが挙げられて、先にこちらを進めていきたいと思いますという話なので、公園自体を整備するっていうよりかは、指定管理者さんと市のほうで、どういうふうに運営していったらいいかということ、今後、市民も交えて、いい公園にしていけたらなというふうに思っています。なので、全く手付かずとは思っていません。とてもよくまとまっているなと思っています。

一つ気になったのが、総合運動公園の所で、アリーナ・スタジアム・エリアが長期から中期になっていて、整備優先度が△なのですが、市民の要望をよく見たらあまり載っていませんでした。ここを使われる方の声あまり聞けていないのではないかと少し思いました。

公園のアンケートのときも、実際、利用している人には声が掛けられないので、待っている人とか休んでいる人にしかアンケート、聞けなかったのではないかと。ワークショップに参加する人たちが実際、選手とかの人たちが少ない、ここを使われる人たちが少ないと要望とかも出ないのかなと思うので、この三角が本当かなと思いました。

中期ですけれども、多分、スタジアムが30年ぐらいたっていると思うので、トイレとかももう昔の形だと思いますので、指定管理者が入っている、そちらにお任せされているかもしれないですけれども、中期の中で進めるにあたって、検討をしていただけたらなと思いました。以上です。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。ロードマップについては、5年をめどに見直すように想定していますので、その中で、しっかりまた検証していきたいと思っております。

【委員長】

ありがとうございました。今の、総合運動公園のところは、担当のスポーツ課の方も事務局ですので、公園だけではなくて、スポーツ施設に関してはスポーツ課から意見をいただけるといいかなと思います。

【委員】

質問ではないですが、私ども愛知県もいくつか県営公園を持っております。同じように公園を快適に多くの方に利用していただけるように、ポテンシャルを最大限に使われることが求められています。

一方で、老朽化した公園施設の適切なメンテナンスなどの維持管理が課題となっておりまして、そこを民間の資金とかのノウハウを使って、整備活用していくってことで、刈谷市さんでもミササガパークで導入されているような、Park-PFIの手法で、収益性の高い施設を、立地しやすい公園を中心に導入しております。この取り組みは全国でも広がっているところです。

ただ、公園に収益性を求めるっていうのは限界があると思いますし、それが本当に、住民の方に望まれる公園の姿になるかっていうところも、疑問が残るかと思います。本当に公園が生きた使われ方をするためには、普段から使われている地元の方々や、今までも利用されている団体からの意見を聞くとともに、連携、パートナーシップをいかに構築していくかが重要かと思います。

その意味で、公園づくりの構造から、現在のロードマップの作成までやられているっていうことは、本当に連携していくっていう点で、すごく意義があることだと思っておりますので、今後の見直しについても、連携を図りながらやっていかれてはどうかと思います。

【委員長】

ありがとうございます。今後のスケジュールの話が出ましたので、説明をお願いいたします。

《議題(3)について》

説明(資料4: 今後のスケジュールについて)

【委員長】

ありがとうございました。先ほどの皆さまがたのご意見、特に緑のみちだとか、いろいろご意見をいただきましたので、少し修正を加えて、また議会のほうに報告するというところでございます。

それでは、ご議論をいただいたということで、議事はこれで終了といたします。ありがとうございました。

【事務局】

ありがとうございました。いただきましたご意見、ご指摘事項を踏まえ、ロードマップを策定させていただきます。なお、修正につきましては、委員長一任とさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。(異議なしとの声)

皆さま、長時間にわたりありがとうございました。